

合い言葉 「愛共に」「夢大きく」

# 志比内広場

令和4年2月24日発行 東神楽町立志比内小学校・志比内公民館 第11号

## 春の足音と大切な節目

校長 木末携志

昨年末からのオミクロン株の感染の急拡大により、全国的に危機的状況が続いています。北海道でもまん延防止等重点措置が3月6日まで延長され、全道各地では学級閉鎖や学校閉鎖も続いております。本校も残念ながら感染拡大防止のため、2月16日(水)～20日(日)まで休校措置をとらせていただきました。これから学年のまとめの時期に入り、大きな行事も予定されています。しかし特効薬や有効な手立ては限られており、一日も早い収束を願うことしかできません。基本的な感染対策をしっかりと継続しながら、子どもたちの学びを保障してまいります。ぜひご家庭でも感染拡大を防ぐためにご協力をお願いいたします。

暦の上では、立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。毎日少しずつ日が長くなってきて、日差しも少しずつ力強さを増しています。現在本校の玄関ホールには雛人形が飾られています。雛祭りはもともと中国の節句から由来します。今では医学が発達して、子どもの死亡率は高くないが、江戸時代には兄妹姉妹のうちの半数が死亡することも珍しくなかったそうです。だからこそ子どもたちが無事成長するように親としての切ない願いがこめられていたそうです。平安時代には紙の人形を作り、それで体をなでて体を清め、厄を除いて川や海に流す風習があったが、江戸時代の末期に現在のような段飾り形式の雛人形を飾るようになったそうです。



3月は一年間のまとめとなる時期ですが、特に児童会や行事など多くの活動の中で、いつもリーダーとして活躍していた6年生2名がまもなく卒業を迎えます。各学年が、6年生への感謝の気持ちや卒業をお祝いする気持ちを伝えようと準備を進めています。6年生には、それらの思いをしっかりと受けとめながら志比内小学校を巣立って行ってほしいと思います。最高学年として本当に素敵な姿をたくさん見せてくれました。

ぜひ、ご家庭でも卒業や進級を前にして一年間を振り返り、お子様の成長と一緒に喜んでいただけたらと思います。一人ひとりの子どもの頑張りや努力と共に、それを支えてくださったたくさんの人の励ましがあったことと思います。子どもたちが新型コロナウイルスの感染拡大に負けず、大切な節目の時期を迎えられるよう、学校でも一人一人の子どもを温かく見守っていきたいと思います。

あと1ヶ月に迫った新年度のスタートに向け、子どもたち一人ひとりが安心して学ぶことができ、子どもたちの笑顔と成長があふれる志比内小学校を今後もめざしていきたいと思います。

## 第109回卒業式

卒業式を3月18日（金）に行います。

今年度は卒業生が2名です。運動会や学芸会、餅つき集会等、行事の際に温かい声をかけていただき、また、優しく見守っていただいたおかげで、無事卒業式を迎えることができます。

本来ならば、地域の方に成長した姿を見ていただきたいところですが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のため、卒業式と卒業を祝う会は、学校と保護者で行うことといたしました。ご理解いただきますようお願いいたします。



## ひな人形

今年もひな人形を飾りました。3月3日まで飾っています



- 3月 1日（火）全校朝会・研修日
- 3月 2日（水）読み聞かせ（6年生）
- 3月 4日（金）6年生を送る会・参観日
- 3月 8日（火）職員会議
- 3月 9日（水）読み聞かせ（6年生）
- 3月16日（水）卒業式総練習
- 3月18日（金）第109回卒業式
- 3月22日（火）サケの放流式・職員会議
- 3月24日（木）修了式・離任式

## 町の行事を学ぶ

3年生の国語の学習で「町の行事について発表しよう」という単元があり、今年度は「ウパシの森」「クリーンウォーク」について調べることにしました。そこで、役場の健康福祉課の山下さんと産業振興課の宮森さんに来ていただき、取組について詳しく説明していただきました。

自分たちの住む町の良さを感じることができた良い時間となりました。



## 冬の集会

2月3日（木）に冬の集会を行いました。児童会の取組で司会進行やゲームの企画運営を子どもたちが行いました。

行ったゲームは「だるまさんが転んだ」と「モグラたたき」を先生方も一緒に行いました。

当日は、なぜかゲームを行っているときだけ吹雪だったのですが、子どもたちも先生方も楽しく元気に活動していました。

山村留学の子どもたちにとって雪に親しむ大事な行事なので、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。

